

人推協だより ほっと・あい 第237号

愛荘町人権教育推進協議会
☎(事務局)教育委員会生涯学習課
☎0749-42-8015 FAX 0749-42-8014

「経済と時間の効率化」ばかりが意識される多様化した社会と、コミュニケーションが衰退している団体や地域で、人々の心豊かな生活が保障されるのでしょうか。

○少子高齢化、形骸化している“自治会”を立て直す。

地域ごとに設けられている“自治会”。これは、一定の地域に住む人々が住みやすい地域社会づくりのために自主的に活動を行う団体ですが、今、年々会員が減少傾向にあります。

街頭で話を聞いてみると「(自治会に) 加入している」という声とともに「入っていない。煩わしいというイメージ」、「入っていない。積極的に入りたいわけでもない」といった意見が散見。

さらに、昨今自治会を巡って、役員のなり手がなく、自治会に入るメリットがない、何をしているのかわからない、役員になるとやらされ感が半端ではないなど、さまざまな課題が発生しており、住みよい暮らしを整えるはずの団体が衰退の方向に向いています。

○高齢者は年々増加しているのに、老人会は激減しています。

「老人クラブ」は高齢者を会員とし、健康づくりのためのスポーツや社会参加などの活動を行う、地域を基盤とした自主的な組織です。今日、会員数(老人会連合会加入数)は、大きく減少しています。65歳以上の高齢者人口は増えているのに、一見すると不思議に感じます。老人クラブに加入している人の割合は激減しているわけですが、その理由は何なのでしょう。

地域限定の閉じた集まりであることが挙げられます。また、昔からの顔見知り同士が、昔からの関係そのままに集まっている状態が想像できます。先輩・後輩や上下の関係も存在しているかもしれません。そこにある硬直的な人間関係が心理的なハードルとなって、入会する人を減らしているようにも感じます。そして、老人クラブで企画・実施されるものは、役員の大きな負担となり、今日、高齢まで労働を必要とする労働人口の激減の中で、その選択肢の幅にもレベルにもかなりの差があることです。

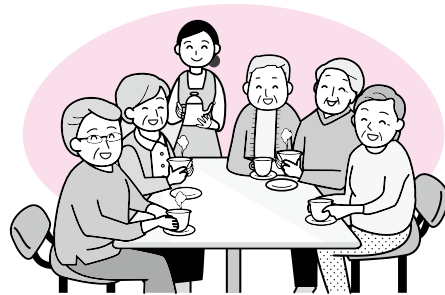
○OPTAや子ども会育成会が消滅する主な理由

本町ではPTAは維持していますが活動は低下の方向、子ども会育成会はかなり存続が難しい地域もあります。少子化の影響もありますが、役員選出の困難さ、活動への参加率の低下、保護者の負担増などが挙げられます。PTAや子ども会育成会活動の目標が見失われ、組織に意味を感じない保護者も多く、任意加入であるにもかかわらず強制的な印象が強いことも背景にありそうです。

今日まで、青年団・婦人会等が自然消滅してきた要因を「しかたない」で終わってきた行政や地域にも責任があり、少子化とこれらの組織の衰退は、これからのまちづくりに大きな課題となり、今後の町や地域の消滅危機にも繋がる恐れがあります。



自治会・老人会・子ども会等、これらのそれぞれの組織課題を見通した時、多様化した社会で、一人ひとりのニーズに応じた取組は不可能です。ならば、一つの考え方として、それぞれの価値観やニーズに合った人々が「主体性や協働の力(テーマコミュニティ)」を育て、組織の目的や自分たちの目標を達成していくことも、これからの社会には必要なのかもしれません。



健康ワンポイント

2月4日～2月10日は 「滋賀県がん向き合う週間」です。

現在がんになる人は2人に1人であり、4人に1人ががんにより亡くなっています。がんによって亡くなるリスクを減らすために、一度がんについて考えてみませんか。

がん検診を受けましょう!

がん検診は症状のない方が対象です。がん検診を受けることで、無症状のうちからがんの早期発見・早期治療ができる可能性が高くなります。

症状がないから
受けなくても
大丈夫ですね。

気になる症状がある場合は、医療機関の受診が必要です。

* 愛荘町で実施しているがん検診について *

愛荘町では、5つのがん検診を毎年実施しています。ここでは、それぞれの検診内容をご紹介します。

■ 胃がん検診

〈胃部X線検査(バリウム検査)〉

対象：40歳以上

胃の粘膜を調べるため、発泡剤と造影剤(バリウム)を飲み、胃の形や異常を確認します。

〈胃内視鏡検査〉

対象：50歳以上で年度末年齢が偶数の方

口または鼻から内視鏡を挿入し、胃の内部を直接調べます。

■ 肺がん検診

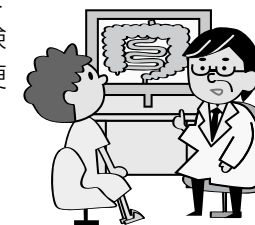
対象：40歳以上

胸部X線検査により、肺全体の異常を調べます。大きく息を吸い込み、止めた状態で撮影します。

■ 大腸がん検診

対象：40歳以上

便の中に血液が混じっていないかを調べる便潜血検査を行います。2日分の便を採取して提出します。



■ 乳がん検診

対象：40歳以上/受診間隔：2年に1回

乳房を板で挟み、X線で撮影するマンモグラフィ検査を実施します。小さなしこりや石灰化などを調べます。

■ 子宮頸がん検診

対象：20歳以上/受診間隔：2年に1回

視診・触診・内診に加え、子宮頸部の細胞を採取して調べる頸部細胞診を行います。

■ 検診を受ける皆様へ

- ・一度の検診ですべてのがんが発見できるとは限りません。定期的な受診が大切です。
- ・要精密検査と判定された場合は、必ず精密検査を受けてください。放置すると、がんがあった場合に悪化する恐れがあります。

■ 個別検診を実施中!

医療機関で受診できる個別検診(胃内視鏡検診・乳がん検診・子宮頸がん検診)を行っています。詳しくは「愛荘町健康カレンダー」で検索してください。



出典・参考：国立がん研究センター がん情報サービス 健康推進課 ☎0749-42-4887